

# 熊日出版文化賞 受賞作決まる

新宇土市史 宇土の今昔  
百ものがたり

肥後学講座

くまもとの野鳥 写真図鑑

孤闘―正直に生きる

徳永直文学選集

高水準で研究に有益

運動盛り上げる活動

特徴をコンパクトに

闘いの軌跡伝わる

資料的に高い価値



熊日出版文化賞の選考委員による選考会議  
＝熊本市の熊日倶楽部（大田垣典子）

第31回熊日出版文化賞の本選考が5日、熊本市上通町の熊日倶楽部であり、自費出版物に贈るマイブック賞1点と特別賞1点を含む5点の受賞作が決まった。【1面参照】

出版文化賞の「新宇土市史」は、宇土市が1992～2009年に全7巻を刊行。古代から現代までの通史を3巻で完結。県内の研究者や郷土史家が近世の歴史を解説し「運動を盛り上げる出版活動」として認められた。

「孤闘」の緒方正実さんが水俣病として認定されるまでの過程は、も呼び続ける被害者だけでなく、国、県に何らかのヒントになると思う。水俣病を「終わらせる」のではなく、「解決する」一助になればうれしい。

「肥後学講座」は、熊本市40周年と熊日倶楽部（高野茂樹支部長）は、日本野鳥の会県支部（高野茂樹支部長）

## 17年間で認められた

「新宇土市史」の田口信夫宇土市長17年かけた編さん事業が一大文化事業として意義あるものだったということが評価され、うれしい。受賞を機に多くの人に読んでもらえればと思う。子どもたちにも伝えていきたい。

## 活動の大きな弾みに

「肥後学講座」の吉丸良治さん、大変うれしい。9月完了を控える古今伝授の間の改修や、来年の新幹線開通とともに熊本の歴史を広く知ってもらうための後押しをいただいたような気がする。活動の大きな弾みになる。

## 受賞者コメント

### 40周年に花を添えた

「くまもとの野鳥」編集委員長の山本和紀さん 県支部発足40周年を記念して出版したので、花を添えることができた。多くの会員の協力のおかげ。熊本にこだわった図鑑で情報も豊富。身近に感じてもらえると思う。

### 水俣病解決の一助に

「孤闘」の緒方正実さん 私が水俣病として認定されるまでの過程は、も呼び続ける被害者だけでなく、国、県に何らかのヒントになると思う。水俣病を「終わらせる」のではなく、「解決する」一助になればうれしい。

### 本読んで理解深めて

「徳永直文学選集」編集責任者の高木陽助さん 彼の代表作「太陽のない街」は海外で翻訳されるなど国際的にも評価が高い。著作は今では手に入りづらいが、多くの人にこの本を読んでもらい理解を深めてもらいたい。

が企画した写真図鑑。会員らが撮影した写真とともに野鳥の特徴や生息状況をコンパクトに紹介し「分かりやすく、使いやすい」と好評だった。

マイブック賞の「孤闘」は、水俣病患者の緒方正実さんの水俣市が水俣病認定を勝ち取るまでの記録をまとめ「生の資料から闘いの軌跡が伝わる」と注目された。特別賞の「徳永直文学選集」は、熊本市出身のプロレタリア作家の小説や評論を全2巻に収め、資料的な価値が評価された。

熊日出版文化賞は、県内の個人・団体の著作を毎年顕彰。今回は09年に刊行された153点を対象に、1月の予備選考で候補作18点を選んでいた。

（小林義人）  
選考委員は次の通り（敬称略）。  
飯田吉盛（県立図書館情報支援課参事） 嵯峨一郎（熊本学園大学学芸部教授） 嶋村清（東海大産業工学部教授） 高根州賀子（熊本大永青文庫研究センター客員准教授） 富田紘一（熊本市文化財専門相談員） 星子邦子（消費生活コンサルタント） 松木良介（クラフィックデザイナー） 高隆武（熊日論説委員長）